

平成25年

2013

5月

18日 「動物園で植物かんさつ」
帯広百年記念館と
共催



7月

9月

15日 プラザまつりにてモルモットふれあい
20日 アミメキリン♂「スカイ」を釧路市動物園へ搬出
23日 開園50周年記念事業「どうぶつの食・にんげんの食」開催



アミメキリン
雄

Obihiro Zoo | 10 years Chronology

雪中ジャンボかるたとり



1月

7日 エゾリス1頭、
エゾモンガ1頭を
釧路市動物園へ搬出
13日 雪中ジャンボかるたとり開催

1日 開園50周年記念事業「みんなのおもいで写真展」開催
5日 エゾシカ4頭避妊ワクチン実験
6日 ハイタカ傷病保護
13日 ベビーカー20台、歴史パネル掲示板1基、おびひろ動物園
協会より受贈
開園50周年記念事業「回想法」開催
14日 開園50周年記念事業「動物園の未来を語ろう会」開催
29日 ニホンザル誕生
30日 教員のための博物館の日

11月

3日 「いきものジャンボ
カルタとり」開催

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2月

2日 深夜に帯広震度5の
地震発生、被害なし
3日 サル山にて節分豆まき

4月

10日 鉄鋼業協会奉仕作業
27日 帯広畜産大学 サテライトブース開設
28・29日 リスザル舎壁面に
スプレーアート塗装

6月

6日 オンドリ5羽孵化
15日 シロフクロウ3羽孵化
20日 アムールトラ♀「マオ」、
東京都多摩動物公園より来園
21日 車いす、帯広北ロータリークラブより受贈
26日 ニホンザル誕生

アムールトラ
来

8月

4日 「よりどりみどりがおかフェスタ！」開催
9日 ニホンザル誕生
11日 コーブさっぽろ共催の
「夏休みホッキョクグマ教室」開催
17日 コモンリスザル誕生
19日 ブンチョウ、帯広南商業高等学校より受贈
30日 ヨーロッパフラミンゴ孵化
31日 コモンリスザル誕生

10月

13日 「カバ展トークショー」開催



平成26年

2014

ヒツジ毛刈り

1月

5日 「動物園で 凧作り」開催

エゾリス誕生



3月

19日 北海道エコ・動物自然専門学校 堤氏勉強会 動物トレーニングについて

5月

4日 ヒツジ2頭毛刈り実施
12日 エゾリス誕生
29・30日 エゾシカ誕生



ヒマ来園



7月

8日 オオタカ傷病保護
29日 教員の日 教育のための博物館の日
30日 教員の日 (バスツアー)

9月

4日 ハリスホーク、帯広青年会議所より受贈
7日 プラザまつりにて モルモット・フレミッシュジャイアントを展示・ふれあい
8日 フレミッシュジャイアント誕生
12・15日 エゾシカ誕生
19日 アメリカビーバー♀「ダブ」、鳥羽水族館より来園
21日 アミメキリン♂「メープル」誕生
28日 ハリスホーク、寄贈式
30日 ラマ♀「小梅」、大樹町より来園

フレミッシュジャイアント



アミメキリン誕生



1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2月

19日 危険動物脱出対応訓練
15日 ハイタカ最後の1羽死亡♀「No.2」

Winter



4月

21日 ライオン♂「ヤマト」、釧路市動物園より来園
26日 帯広畜産大学との連携事業で キリン堆肥100袋配布

ハト来園



6月

2日 エゾシカ誕生
3日 キツネ害防止のため、ガンカモ類を旧犬舎へ移動 フタコブラクダ最後の1頭死亡♀「ボス」
14日 ニホンザル誕生
19日 シロフクロウ3羽孵化

シロフクロウ孵化



8月

21日 エゾシカ誕生



10月

8日 「エキノコックス講習会」開催
9日 エキノコックス対策ベイト、園内散布 (以降、毎月実施)



Obihiro Zoo | 10 years Chronology

平成27年

2015

旭川の動物園

1月

12日
「動物園で
凧作り」開催



3月

18日
危険動物脱出対応訓練
23日
公式ホームページ
リニューアル



清掃奉仕



7月

22日 チンパンジー♀「プヨ」、
旭川市旭山動物園より来園
28日 教員のための博物館の日

チンパンジー来園



9月

18～25日
「動物愛護週間パネル展」開催
29日 コモンリスザル誕生

11月

3日「カルタ大会」開催
8日「どこまで描ける?象のあれこれ」開催
13日 コハクチョウ発信機装着
猛禽類医学研究所・山階鳥類研究所
耐久調査 12月9日取り外し

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

7月18日～8月31日
企画展「BONES・ラクダ展」

8月

9月

10月

11月

12月

4月

11日
ホッキョクグマ♂「イコロ」を
送る会のため臨時開園
13日
ホッキョクグマ♂「イコロ」を
東京都恩賜上野動物園へ搬出
27日
観覧車救出訓練

ホッキョクグマを送る会



6月

22日 ニホンザル誕生
23日 マンドリル♀「サラサ」、
日本モンキーセンターより来園
ヤギ小屋設営
24日 シロフクロウ2羽孵化

8月

1日 帯広自衛隊音楽隊 イベント
15日「ほねほねパズル 正しくならべるかな」開催
23日 帯広青年会議所によるステージ塗装
29日 ニホンザル誕生

マンドリル来園



10月

15日 計量機一式、釧路信用金庫より受贈
17・18日 WSC西原氏講演会開催
25日 インドクジャク孵化

ヤギ小屋設営



平成28年

2016

ヒツジ毛刈り

ニホンザル誕生

11月

28日
ラマ♂「梅ノ輔」、
大樹町より来園

3月

20日
ゴマファザラシ
♀「マシロ」誕生

5月

21・22日
ワークショップ
「みんなで象の
うんこアートを作ろう!」
「象のうんこで運のつくお守りを
作ろう!」開催
22日 ヒツジの毛刈り実施
24日 カバ最後の1頭死亡♂「ダイ」
28・29日
「フォトブックをつくってメッセージをつたえよう!
野生動物の今～コンゴウインコとヨウム編～」開催

7月

16・17日
エコロジーパークヘモルモット、
フレミッシュジャイアント貸し出し
25・28日 ニホンザル誕生
26日
教員のための博物館の日
28・29日
「フォトブックをつくってメッセージをつたえよう!野生動物の今
～コンゴウインコとヨウム編～」開催



4月

2日 オジロワシ最後の1羽死亡♂「マルオ」
19日 シロフクロウ♂「しらたまくん」を
釧路市動物園へ搬出

フォトブック
めん羊来園

8月

10日「フォトブックをつくってメッセージをつたえよう!野生動物の今
～コンゴウインコとヨウム編～」開催
19日 めん羊♀「ルカ」、置戸町より来園
21日 ニホンザル誕生

9月

10日 とかちプラザヘモルモット、
ハリスホーク貸し出し
11日 ふれあいフェスヘモルモット貸し出し
21日 アムールトラ♂「カフカ」、めん羊♀「ピノ」、
釧路市動物園より来園
24・25日 エコロジーパークヘモルモット貸し出し

10月

25日 コモンリスザル誕生

6月

11日「フォトブックをつくってメッセージをつたえよう!
野生動物の今～コンゴウインコとヨウム編～」開催
13・16日 ニホンザル誕生
15日 猛獣脱走時対応訓練
28日 ゼニガタアザラシ1頭一時収容

動物画写生コンクール



平成29年

2017

チャップマンシマウマ来園



9月

- 6日 コモンリスザル誕生
- 9日 プラザまつりへモルモット、ハリスホーク貸し出し
- 10日 「フォトブックをつくってメッセージをつたえよう! 野生動物の今～身近なエゾリス編～」開催
- 12日 エゾタヌキ♀「あん」、旭川市旭山動物園より来園
- 17・18日 エコロジーパークへモルモット貸し出し
- 20日 キタイズナ傷病保護
- 29日 チャップマンシマウマ♂「リオ」、神戸市立王子動物園より来園

ヒノタチキ来園



ヨウム・キバタン



11月

- 28日 ヨウム「ヨウくん」・キバタン「モモちゃん」来園

1月

- 7日 チンパンジー♀「ピナ」誕生
- 8日 「動物園で凧作り」開催

チンパンジー誕生



5月

- 15日 帯広南ロータリークラブ、芝桜植栽

7月

- 25日 教員のための博物館の日
- 15・16・30日 「フォトブックをつくってメッセージをつたえよう! 野生動物の今～FSC®認証編～」開催

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月



園路舗装



塗装奉仕

6月

- 17・18日 エコロジーパークへモルモット貸し出し
- 18日 あすかの会 ボランティア清掃

ボランティア清掃



8月

- 5日 ニホンザル誕生
- 19日 ヨーロッパフラミンゴ孵化
- 26・27日 「フォトブックをつくってメッセージをつたえよう! 野生動物の今～身近なエゾリス編～」開催

フラミンゴ孵化



フォーラム開催

10月

- 15日 「未来の動物園を考えるフォーラム」開催
- 28日 菊祭りへモルモット、フレミッシュジャイアント出張



平成30年

2018

1月

22日 カリフォルニアアシカ最後の1頭死亡♂「タケル」
28日 「フォトブックをつくってメッセージをつたえよう! 野生動物の今 ~身近なエゾリス編~」開催



3月

ゴマファザラシ誕生



25日
ゴマファザラシ
♀「ミナ」誕生

5月

13日 アカカンガルー誕生
21日 エゾリス4頭誕生
28日 ロータリークラブ、
芝桜植え込み



エゾリス誕生



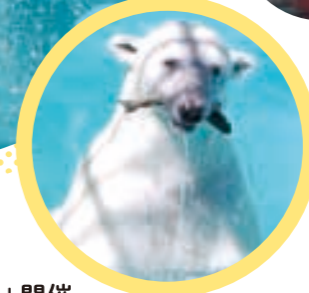
芝桜植え込み

7月

7・8・21日
「フォトブックをつくってメッセージをつたえよう! ~野生のゴリラとチンパンジーをもっと知ろう~」開催
20日 ピグミーヤギ最後の1頭死亡♂「ぴっくー」



海の日



9月

6・9日 コモンリスザル誕生
27・28日 全国動物園技術者
研究会開催
29日 全国動物園技術者研究会
園内見学案内
29日 エゾリス♀2頭、
旭川市旭山動物園へ譲渡
30日 モルモット♀3頭、
旭川市旭山動物園より来園



全国動物園技術者研究会

11月

29日
第3回魅力アップ
検討委員会

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

キリン外放飼場
ハルニレ植樹

8月

9月

9月6日 北海道胆振東部地震発生
約22時間停電

10月

11月

12月

2月

16日
ゴマファザラシ♀「マシロ」、
エゾリス2頭、
札幌市円山動物園へ搬出
3・17日
「フォトブックをつくってメッセージを
つたえよう! 野生動物の今
~身近なエゾリス編~」開催
28日
ベンチ2台、第一生命
労働組合帯広支部より受贈

4月

21日
ゾウシンポジウム・勝毎
「春子 最後の夏」開催



コモンリスザル誕生



8月

22日 コモンリスザル誕生
23日 第1回魅力アップ検討委員会
25日 帯広畜産大学と共同で
園内の野生のエゾモンガ
観察会を開催



第2回魅力アップ検討委員会

10月

5日 ベンチ2台、国際ソロプチミスト
帯広みどりより受贈
13日 アカカンガルー誕生
16日 ヤギ2頭、♀「くろ」「こなつ」
置戸町より来園
24日 ベビーカー10台、傘60本、
国際ソロプチミスト
帯広みどりより受贈
30日 第2回魅力アップ検討委員会

アメリカビーバー誕生



6月

1日 書籍32冊、
(株)コンピクシオンより受贈
21日 エゾリス1頭、
オホーツク振興局より移管譲受
29日 アメリカビーバー♂「ナツ」「ソラ」誕生



エゾモンガ観察会



第1回魅力アップ検討委員会

アカカンガルー誕生



平成31年・令和元年

2019

誕生



1月

13日 ヤギ2頭
♂「くく」♀「ろろ」誕生
19日 ヤギ♀「こはる」誕生
26日 動物園の魅力アップを考えるフォーラム

シロフクロウ来



3月

19日 第5回魅力アップ検討委員会
26日 シロフクロウ♀「キリ」「モリー」、
秋田市大森山動物園より来園

5月

27日
ロータリークラブ
芝桜植え込み

7月

4日 シロフクロウ3羽孵化
24日 南町中学校ボランティアで
ベンチ塗装
31日 ニホンザル誕生

ニホンザル誕生



9月

4日 エゾリス♀2頭、
エゾモモンガ♂1頭、♀1頭を
旭川市旭山動物園へ搬出
7日 帯広畜産大学と共同で園内の
野生のエゾモモンガ観察会を開催
10日 ヨーロッパフラミンゴ孵化
19日 ヨウム死亡「ヨウくん」
27日 アミメキリン♀「ユルリ」、
東京都多摩動物公園より来園
27~29日 ブンチョウ4羽孵化

アミメキリン



フラミンゴ雛



ブンチョウ雛

11月

23・24日
ブンチョウ
6羽孵化



1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

12月26日
教員・生活科環境
教育研修

2月

1日 キタイイズナ傷病保護
26日 第4回魅力アップ検討委員会

キタイイズナ保護



4月

27日
キッチンカー導入

キッチンカー



8月

5日 エゾモモンガ♀2頭を旭川市旭山動物園へ搬出
29日 アニマルベンチ、国際ソロプチミスト
帯広みどりより受贈

エゾモモンガ



10月

26日
特別講演会
「森に生きる野生動物
～北海道の森で出会った野生動物～」開催
講師：帯広の森・はぐーむ 施設長 日月 伸氏

12月

9・11・13日
ブンチョウ7羽孵化

アニマルベンチ



シロフクロウ雛



60th Anniversary 44

令和2年 2020

エゾタヌキ保護



5月

5日 夏期開園を6月1日に再延期、6月のイベント・ふれあい教室の中止
23日 夏期開園を5月27日に決定
27日 開園スタート
30日 エゾタヌキ5頭、傷病保護

3月

4日 インドゾウ死亡♀「ナナ」
20日 猛獣脱出対応訓練(机上)
27日 (株)市川組よりおびひろ動物園ゆめ基金に1,000万円の寄附

7月

18日 イベント・ふれあい教室の再開
13日 アメリカビーバー♂「モカ」「コナ」誕生

9月

5日 特別講演会「動物の幸せを追求して～動物福祉からトレーニングまで～」開催
講師:秋田市大森山動物園 柴田 典弘氏
13日 「食べる・たいせつフェスティバル」中止

特別講演会



ふれあい教室

アメリカビーバー誕生



11月

4日 園内WiFi工事(～11/9)

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2月

13日 アカカンガルー誕生



アカカンガルー誕生

4月

3日 オオタカ最後の1羽死亡♀「サツコ」
15日 アカカンガルー誕生
16日 新型コロナウイルス感染症対策のため、毎年行われてきた清掃奉仕を中止
夏期開園を5月11日に延期、5月のイベント・ふれあい教室の中止
19日 ゴマフアザラシ♀「レラ」誕生

ゴマフアザラシ誕生



8月

15日 インドゾウ「ナナ」をおくるセレモニー開催
21日 JICA北海道展示企画 写真展「国際協力の現場で出会った!世界の動物たち」(～9/30)、JICA研修員による動物・国紹介ポスターを 対象動物舎で掲示(～2月末) ベンチ7脚、車椅子2台、帯広市パークゴルフ協会より受贈



エゾタヌキ搬出



10月

13日 エゾタヌキ♀「うみ」を旭川市旭山動物園へ搬出
インドクジャク♀「メリー」、モルモット♀1頭、旭川市旭山動物園より来園
21日 車椅子1台、阪南理美容(株)美容プラージュより受贈
27日 モルモット♀4頭譲受

モルモット誕生



インドクジャク来園



12月

11日 モルモット6頭誕生
13日 モルモット3頭誕生

令和3年 2021



1月

22日
札幌市
円山動物園への
協力のため
ニホンザル採精



アメリカビーバー
養子

3月

4日 河田ファームから規格外農産物
受け入れの取り組みを始める
17日 猛獣脱出対応訓練
23日 アカカンガルー誕生
24日 アメリカビーバー♂「ソラ」を
高知県立のいち動物公園へ搬出
30日 エゾタヌキ♂「りく」♀「ゆき」を
札幌市円山動物園へ搬出

7月

新アザラシ舎



5月

9日
モルモット3頭来園
17日
帯広南ロータリークラブ
芝桜植栽
(株)ボーケン工業・
徳井建設工業(株)より無償で
遊具エリアの噴水の改修
北海道の緊急事態宣言により
臨時休園
27日
東光舗道による、
花壇整備ボランティア

13日 北海道電力ネットワーク(株)より枝葉の提供
旧アシカ舎プール改修完了、新アザラシ舎として活用
16日 足ふみ式手指消毒用機材6台、
帯広トヨペット(株)より受贈
20日 新アザラシ舎へゴマフアザラシの移動
29日 シロフクロウ♂「とうふ」を札幌市円山動物園へ搬出

オシドリ来園

11月

9日 オシドリ♀2羽、
釧路市動物園より来園
10日 モルモット2頭、エゾリス2頭を
釧路市動物園へ搬出
15日 アメリカビーバー♂「ナツ」
甲府市遊亀公園附属動物園へ搬出
21日 「フォトブックを作ってメッセージをつたえよう！
～タンチョウレスキュー編～」開催



2月

27日
アカカンガルー
2頭誕生

アメリカバイソン来園



4月

10日
シナモンブンチョウ5ペア来園
12日
モルモット10頭来園
15日
帯広商工会議所創立100周年
記念事業として
アメリカバイソン2頭と
解説看板を受贈
アメリカバイソン
♂「گران」♀「サクラコ」、
岩手サファリパークより来園



シナモンブンチョウ来園



モルモット10頭来園

8月

8日「タンチョウ
レスキュー巡回展」
開催(～10/31)
28日 北海道に
緊急事態宣言、臨時休園



タンチョウレスキュー巡回展

10月

1日 開園再開
13日 シロフクロウ♂「白ごま」を旭川市旭山動物園へ搬出
21日「エゾシカ」「エゾタヌキ」「エゾフクロウ」「エゾモモンガ」
獣舎前にアイヌ文化理解促進のための多言語解説パネル設置
30・31日「フォトブックを作ってメッセージを伝えよう！
～タンチョウレスキュー編～」開催

シロフクロウ搬出



6月

1日 ニホンザル
誕生
21日 開園再開



令和4年

2022

備品の寄附



3月

25日 危機管理対策備品、
帯広トヨペット(株)・
トヨタカローラ帯広(株)より受贈

ベニコンゴウインコ寄附

5月

12日 エゾシカ♀「のぞみ」を
旭川市旭山動物園へ搬出
インドクジャク♂「ヒスイ」、
旭川市旭山動物園より来園
15日
ベニコンゴウインコ
♂「ソル」♀「シエロ」、
帯広西ロータリークラブより受贈
アニマルベンチ、
帯広西ロータリークラブより受贈



アニマルベンチ

エゾシカ搬出



食べる・たいせじ



9月

20日 セニアカー2台、
(株)竹中配管より受贈



1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

アミメキリン誕生



6月

10日 アミメキリン♂「ユメタ」誕生
20日 アライグマ♀「チャチャ」、
共和町より来園

7月

13日 帯広河川事務所と河川工事等に伴い発生する
枝葉の有効活用に関する協定を結ぶ

8月

21日 帯広畜産大学と共同で
園内の野生のエゾモモンガ
観察会を開催

10月

4・5日 北海道地区飼育技術者研究会開催
5日 入園者数1,000万人達成
23日 特別講演会
「とちの野生動物の今
～大学と動物園ができること～」開催
講師:帯広畜産大学 柳川 久 教授
27日 アカカンガルー誕生

人工哺育開始



11月

26日 キリン外放飼場柵設置
27日
アカカンガルーの子、
袋からの落下により
人工哺育開始

令和5年 2023

1月

12日 福原朋治様より
ビジターセンターの寄附
24日 (株)創造設計舎より
ビジターセンターに関わる費用
(キッズコーナーこども用家具)
として50万円寄附
31日 キタイズナ
最後の1頭死亡「雪月」

5月

24日 東光舗道による
花壇整備ボランティア
29日 帯広南ロータリークラブ
による芝桜周辺清掃



6月

6日 マンドリル♂「サンフジ」、
日本モンキーセンターより来園
チンパンジー♀「ヤワラ」を
仙台市八木山動物公園へ搬出



チンパンジー
搬出

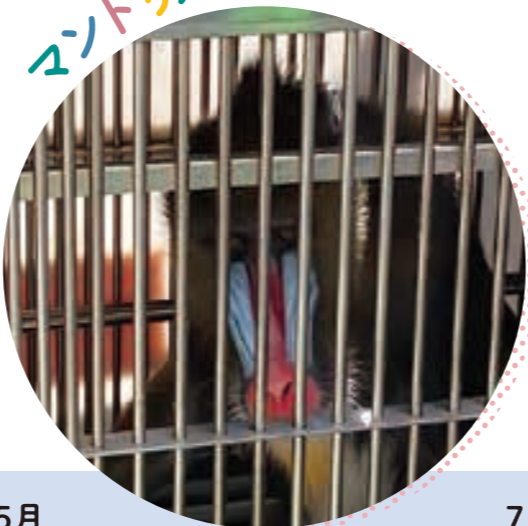
7月

5日 ラマの毛刈り実施
13日 おびひろ動物園
開園60周年

ラマ毛刈り



マンドリル来園



1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

19日 新キリン舎工事着工

10月

11月

12月

Visitor Center Open

October



10月14日 ビジターセンターOPEN



Obihiro Zoo | 10 years Chronology

2月

16日 帯広河川事務所との枝葉の
有効活用の取組みが
「かわたびほっかいどう大賞」に
選ばれる

3月

2日 オオワシ最後の1羽死亡♀「ヒロコ」
10日 インドクジャク♂「ジェード」
旭川市旭山動物園より
来園

8月

18日 アメリカワシミズク
最後の1羽死亡♀「めんこ」
28日 オシドリ♂2羽・♀1羽、来園



サイン改修



9月

27日 帯広広告
美術業協同組合による
サイン改修

Horse petting house Open

December



馬ふれあい舎 12月OPEN予定

かわたびほっかいどう



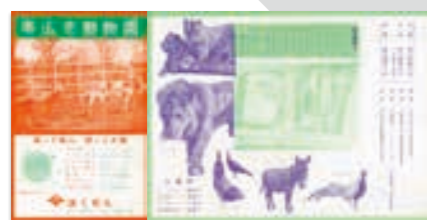
60th

Ticket



Pamphlet

1963
昭和38年



1964
昭和39年



1966
昭和41年



1979
昭和54年



1991
平成3年



2003
平成15年



2013
平成25年



2023
令和5年



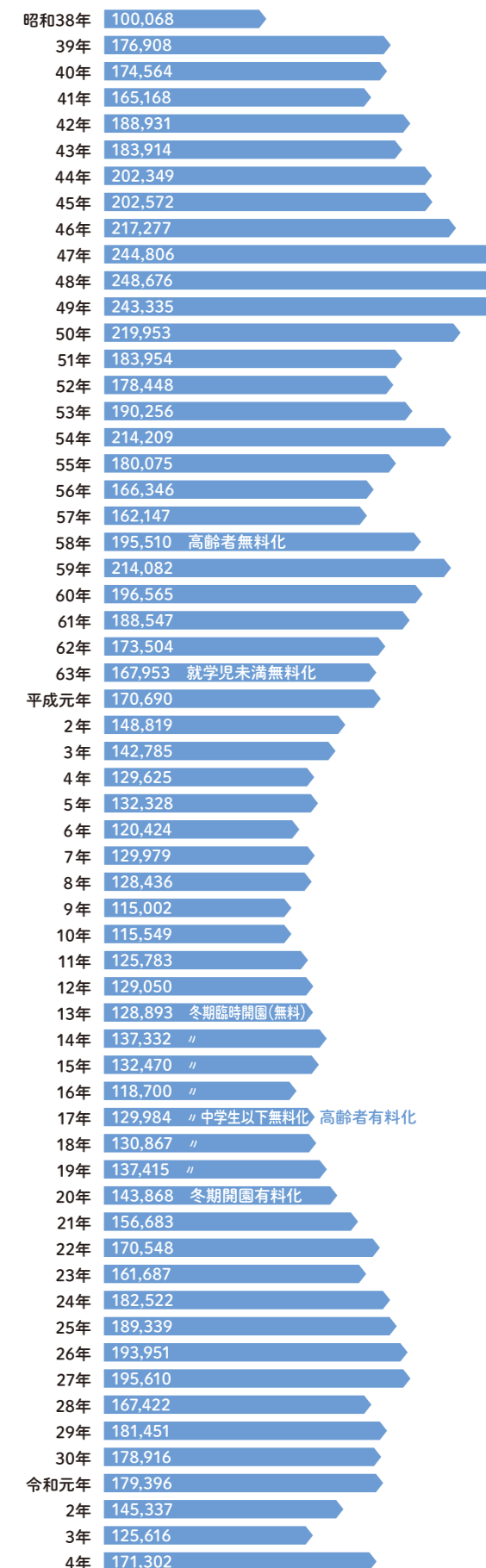
1963 ▶ 2023

●入園料の推移

	大人	中人(～昭39) 高校生(昭63～)	小人(～平16) 高齢者(平17～)
	昭和38年	30円(24円)	20円(16円)
39年	50円(40円)		
40年		—	
41年		—	
42年		—	
43年		—	
44年	100円(80円)	—	
45年		—	
46年		—	
47年		—	
48年		—	
49年		—	
50年		—	
51年	250円(200円)	—	
52年		—	
53年		—	
54年		—	
55年	400円(320円)	—	
56年		—	
57年		—	
58年		—	
59年		—	
60年		—	
61年		—	
62年		—	
63年	450円(360円)	300円(240円)	50円(40円)
平成元年			
2年			
3年			100円(80円)
4年			
5年			
6年			
7年			
8年			
9年			
10年			
11年			
12年			
13年			
14年			
15年			
16年			
17年	450円(220円) ※900円共900円	300円(150円) ※600円共600円	220円(220円) ※440円共450円
18年			
19年			
20年			
21年			
22年			
23年			
24年	420円(340円) ※800円共800円	210円(170円) ※400円共400円	210円(170円) ※400円共400円
25年			
26年			
27年			
28年			
29年			
30年			
令和元年			
2年			
3年			
4年			
5年			

※()内は団体料金 ※通は通年入園券、共は共通利用券

●入園者数の推移



※令和2年・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休園(4/29～5/26)
※令和3年・新型コロナウイルス感染症拡大防止及び緊急事態宣言に伴い、臨時休園(5/17～6/20)(8/28～9/30)

おびひろ動物園の

年間イベント

おびひろ動物園

おびZoo寺子屋



特別講演会

Obihiro Zoo | Annual Event



小学生のための動物園塾



小学生の1日飼育係

4月

・夏期開園スタート

5月

・1日飼育係
・親子で飼育体験
・小学生の1日飼育係

1日飼育係



6月

・親子で飼育体験
・動物画写生コンクール
・1日飼育係

7月

・動物園のミステリークイズ
・夜Zoo探検隊
・海の日イベント
・よるの動物園

海の日



10月

・親子で飼育体験
・おびZoo寺子屋
・1日飼育係
・ハロウィンイベント

探検隊



11月

・おびZoo探検隊
・夏期開園最終日
・入園料無料



ハロウィン

12月

・冬期開園スタート
・おびZoo寺子屋

親子で飼育体験



8月

・小学生のための動物園塾
・1日飼育係
・おびZoo寺子屋
・小学生の1日飼育係

9月

・1日飼育係
・おびZoo寺子屋



親子で挑戦!動物園のミステリークイズ

モモンガ観察会



節分

1月

2月

・節分の日イベント
・冬期開園最終日

3月

・おびZoo探検隊



動物画写生コンクール

※年間スケジュールは暫定で記載しております。

SNS(ソーシャルネットワークサービス)の活用

2019年4月から、X(旧Twitter)を含む複数のSNSを活用し、おびひろ動物園の魅力を発信しています。

XやInstagramでは動物たちの日常生活を、YouTubeでは飼育員によるガイド動画や、オンライン講座のアーカイブなども視聴できます。

また、他の動物園と共同でのオンライン配信なども実施しています。

Xのフォロワー数は一時期7万人を越え、多くの方におびひろ動物園の存在を知っていただくきっかけとなっています。



公式ホームページのリニューアル

2021年1月には公式ホームページがリニューアルされ、自動で文字の大きさやレイアウトが調整されるようになり、パソコンやスマートフォンでも利用しやすくなりました。



リニューアルHPトップページ パソコン画面とスマートフォン画面



プロモーション動画制作、市内巡回フォト&ムービー展開催

2021年2月には、おびひろ動物園の魅力を伝えるためのプロモーション動画を制作しました。制作された動画と、展示動物の魅力を伝える写真展を帯広市内の5か所で開催し、多くの皆さまにご覧いただきました。



プロモーション動画とフォト&ムービー展の様子



平成30年に設置された「おびひろ動物園魅力アップ検討委員会」では、庁内関係課や外部有識者、動物園の利用者代表らが集まり、それぞれの視点から、これからの動物園に求められる役割や魅力づくりの方向性について議論を交わしました。



詳しくはコチラ▲

ずっと愛される動物園であるために

検討委員会の結果を踏まえて、令和2年に「おびひろ動物園の魅力アップに向けて(方針)」を定め、5本の魅力アップの柱に沿った取り組みを進めていくことになりました。



十勝おびひろの特色を活かしていく

厳冬期の気候など、十勝の特徴を活かして、寒冷地や地域の動物を中心に、独自性のある展示に取り組みます。氷上のアザラシや雪で遊ぶホッキョクグマなど、北国ならではの生き生きとした姿を楽しんでもらえるよう工夫します。



ふれあって、地域理解を深める

十勝の開拓で重要な役割を果たしたばん馬や道産子など、地域になじみ深い家畜とのふれあい体験で、優しさや思いやりを育みながら、地域の特徴を学ぶ機会を提供します。



全ての人に優しい施設であるように

園路の整備や、誰もが利用しやすいトイレや休憩所など、安全で快適な環境を整えます。

また、キッチンカーの導入など、飲食サービスの充実をはかるほか、企業等による園の活用や、寄附などの支援を募りながら、魅力ある動物園づくりを進めていきます。



園内清掃や塗装奉仕、ふれあいのボランティアなど、おびひろ動物園はこれまでたくさんの支援に支えられてきました。そして、さまざまな形の寄附も数多くいただいております。最近では、持続可能な社会を目指すSDGsへの意識の高まりも受けて、これまで廃棄されていた資源を有効活用する取り組みも広がっています。

展示動物の寄附

開園時から、たくさんの動物の寄附がありました。最近では、帯広商工会議所や帯広西ロータリークラブの周年記念事業として、アメリカバイソンやベニコンゴウインコを寄贈いただきました。



来園者からの寄附

来園者の皆さんには、肉や魚、野菜、果物、クローバーなどの特別な餌や、ストレス解消のためのおもちゃなど、愛情いっぱいの寄附に支えられています。

規格外野菜などの寄附

十勝の大規模農家から、キャベツやジャガイモ、ニンジンなど、傷や大きさ、形などの理由で出荷できない規格外の野菜を動物たちの餌のために無償で提供していただいています。



伐採ヤナギの寄附

帯広河川事務所と協定を結び、河川工事で伐採されたヤナギを寄附していただいています。ニホンザルやエゾシカの餌になったり、アメリカビーバーの巣材になったり、新鮮な枝葉はとても貴重です。

飼育されている動物が幸せであるために、飼育方法をよりよいものにしていく「動物福祉」の考え方が、全国の動物園でスタンダードになっています。

餌が与えられているだけでなく、心身ともに健康で、快適にその動物らしい暮らし方ができているか、おびひろ動物園でもいろいろな方法で、動物福祉の向上に取り組んでいます。

環境エンリッチメント

動物本来の行動をできるような飼育環境を整えること。

獲物に襲い掛かる行動を引き出すため、ホッキョクグマにポリタンク、ライオンに段ボールなどの「おもちゃ」を与えています。果物や魚などを入れた氷の給餌も、野生のように餌をとるために時間をかけさせるエンリッチメントです。



ハズバンドリートレーニング

麻酔などの方法を取らずに、動物側に自主的に協力してもらいながら健康管理を行うこと。



キリンの削蹄

野生では歩くことで蹄が自然に削れていきますが、動物園では限られたスペースで飼育されているため、蹄が伸びやすくなっています。蹄が伸びすぎてしまうと、起立や歩行時のバランスが悪くなり、関節を痛めてしまいます。そのため、伸びすぎないように蹄を削るトレーニングを行います。

アザラシのボディチェック

野生動物は外敵から身を守るために怪我や病気を隠そうとします。飼育動物も同じで、体調不良を隠すことが多いため、日々のトレーニングにより、触診や口腔内チェックを行っています。その結果、保定をせずに点眼や投薬、薬の塗布が可能になります。



ライオンの体重測定

体重を量るためにも体重計に乗るトレーニングが必要です。動物は警戒心が強く、見慣れないものには近づきません。そのため、できるだけ体重計が目立たないよう木の板を敷いています。体重を管理することで冬の厳しい寒さを乗り越えられるよう増量したり、夏の暑い時期にあわせて減量したりすることも可能になります。

いざ麻酔をかける際の薬の量を決めるときのためにも体重管理は必要です。



ありがとう

ナナ

Thank you Nana

-1964年▶2020年-



M emories

ナナの思い出

私は、2010年7月からナナが亡くなった2020年3月まで彼女を担当しました。59歳(推定)で天国へ旅立ったナナの最後の10年間程を共に過ごしたことになります。初対面ではナナの体の巨大さに圧倒され、ゾウ仕様の飼育環境も全てサイズが大きく驚かされました。ゾウは人間の好き嫌いがはっきりしているので、「嫌いな人間は嫌われる」との先輩職員の説明に困惑しながらの初対面でしたが、私は、特に嫌われも好かれもしませんでした。

ナナとの思い出は色々ありますが、日常的なナナとの会話とやり取りが特に印象に残っています。プールの水が汚ればプールに糞をする、夜間の室温が低い時はワラ(麦稈)を背中に乗せる、部屋に入りた時はドアを鼻でドンドン叩く、は入門編です。プールの水を替える、室温を上げる、早めに部屋に入れる、など、ナナは自分の意思が通じると、満足げに耳をバタバタし、次の言葉を投げかけてきました。お尻を向けてじゅるじゅると鳴く、こっちを向いて座る、は何だと思われませんか? ナナの謎かけに一問一答するような毎日でしたが、10年近く過ごした間には、解くのに数か月かかったもの、今もって解けない言葉もたくさんあります。

動物のいつもと違う行動には、必ず理由がある。動物は、それぞれの言葉で人間に語りかけていて、声なき言葉を聞こうとする人間には語り続けてくれる、というような事をナナは教えてくれました。動物園人は、動物の声なき言葉をいかに聞こうとするか。近年、動物福祉という言葉をよく耳にします。家畜で始まった考えですが、多種多様な動物種を扱う動物園では、より深い洞察力と想像力、柔軟な対応力が必要となります。彼女はそのことを、先んじて教えてくれていたようにも思います。ナナに教わった教訓は、今も動物園人としての私の根幹になっています。

3歳(推定)で来園したナナが過ごした約56年間の動物園生活は、彼女にとって充実して満足のいく生活だったのでしょうか。ナナが亡くなった今も、時々、考えることがあります。おびひろ動物園は今年で開園60周年を迎えました。この先も動物園は続きますが、いつまでもナナに胸を張って見せられる動物園であり続けたいと思っています。

ゾウ飼育担当S.Tより





カバ

アメリカ
ワシミミズク



オオワシ



Obihiro Zoo

60th Anniversary

1963▶2023

カリフォルニア
アシカ



キタイズナ



オジロワシ



フタコブラクダ



● 編集後記

おびひろ動物園は北海道で2番目に開園し、2023年7月13日に開園60周年を迎えました。

開園60周年を記念して、ここに「おびひろ動物園60年記念誌」を発刊できますことを心よりうれしく思います。

今回の記念誌作成にあたり、編集作業を行いながら、過去の一つ一つの出来事を振り返っていると、この60年間、多くの先輩職員がおびひろ動物園の発展のために活動してきた歴史を思い起こすことができました。

また、おびひろ動物園は来園者の皆様のご支援とご協力が大きな力となり、今日まで歩みを進めることができました。2020・21年には新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休園を経験し、これまでとは違う形での活動が求められるようになりましたが、SNSを通しての情報発信など新しい取り組みを通して、遠方の方へもおびひろ動物園の魅力を届けられたのではないかと思います。

60周年のおびひろ動物園は、ビジターセンターの建設やばん馬導入など大型事業が目白押しとなっています。今後も小さなお子様からお年寄りまでみんなが笑顔になれる動物園を次の時代につなげていけるよう、努力を積み重ねていきます。

おわりに、製作に関わってくれたすべての職員および素敵なデザインレイアウトや編集作業をくださった東洋株式会社の皆様に心より感謝申し上げます。

おびひろ動物園 60年記念誌 編集委員

おびひろ動物園60年記念誌

発行 / 令和5年10月31日
編集・発行 / 帯広市(生涯学習部動物園)
協力 / 十勝毎日新聞社 北海道新聞社
表紙写真 / おびひろ動物園 アメリカバイソン
制作・印刷 / 東洋株式会社

※表紙の「動跡」とは
おびひろ動物園が歩んできた軌跡や動物たちの足跡を意味しています。